

砺波市都市計画審議会会議録

1 会議に付した事項

議事事項

- (1) 砺波市都市計画審議会の職務代理者の選任について
- (2) 砺波市の都市計画及び中神土地区画整理事業について

2 開議及び閉議日時

開 議 平成28年2月22日（月）午前10時00分
閉 議 平成28年2月22日（月）午前10時50分

3 会議の場所

砺波市役所 3階 特別会議室

4 出席委員

埴生 雅章会長、小幡 勝義委員、清澤 むつ子委員、島田 あけみ委員、
竹林 順子委員、武蔵 正信委員、山本 甚克委員、山森 文夫委員、
江守 俊光委員、飯田 修平委員、井上 五三男委員、稲垣 修委員

5 欠席委員

大野 祐嗣委員、渡邊 昭洋委員

6 説明のために出席した者の職・氏名

砺波市長	夏野 修
建設水道部長	大浦 正治
都市整備課長	堀池 純一
都市整備課主幹(区画整理係長)	中田 健治
都市整備課都市計画係長	幡谷 優

7 職務のために出席した者の職・氏名

都市整備課都市計画係主任	高畑 孝志
--------------	-------

8 傍聴者

なし

9 主な内容

【砺波市長あいさつ】

今日の審議会は、最近の砺波市の動向等について報告し、意見を頂戴するとともに、職務代理者を決定する。

砺波市の都市計画は区画整理事業が中心だが、中神土地区画整理事業がほぼ仕上がり、また隣接する杉木地区も住宅の需要が多いと聞いている。今年の開発行為申請をみても、例年、年間2件程度の申請が、平成27年度は7件あり、そのうち分

譲住宅の団地開発に係る申請が2件あったということで、区画整理事業によって、民間業者にも開発等の意欲がでてきたのではないかと感じている。

先般、公表された国勢調査の速報値だが、砺波市は49,020人となっており、砺波市人口ビジョン（2015年は、48,732人）で想定しているよりも288人多くなっているため、今後下り曲線とならないようにしたい。そのためには、受け皿も必要であり、商業で都市の魅力も上げながら、また住宅用地も提供して住宅環境も充実させていきたい。砺波市の人口は、社会増だが自然減のため、これからも住みよいまちづくりを目指していきたい。

【会議録署名委員指名】

（埴生会長）

議事に入る前に、本会議の会議録署名委員2名をあらかじめ指名する。会議録署名委員は、竹林委員と井上委員の両名にお願いしたい。

【議事】

（埴生会長）

「議題（1）砺波市都市計画審議会の職務代理者の選任」については、昨年、会長の職務を代理していた水木委員が退任されたので、条例第5条第3項の規定に基づき、新たに会長の職務代理者を指名したく、小幡委員にお願いしたい。

<「異議無し」が多数>

「異議なし」との声があり、職務代理者については、小幡委員にお願いする。

続いて、「（2）砺波市の都市計画及び中神土地区画整理事業」について、事務局から説明をお願いしたい。

【説明】

（幡谷係長）

- ・資料1「砺波市の都市計画」及び資料2「砺波市都市計画総括図」を用いて説明。

（中田主幹）

- ・資料3「中神土地区画整理事業について」を用いて説明。

【質疑応答】

（稲垣委員）

中神土地区画整理事業について確認だが、施工期間が平成29年度までとなっている。先ほどからの説明では、平成27年度でほとんど事業が完了しているということだが、平成28年度にはどのような事業等を実施するのか、詳細に説明願いたい。

(中田主幹)

資料3の3ページでは、ほとんどの道路は整備済みであるが、主要地方道砺波小矢部線の消雪工事が未整備である。また、公園については、大部分が造成されているが、遊具などの修景工事が未整備である。

この後、換地処分や精算金等の手続きが残っており、その期間として2年間（平成28年度、平成29年度）設けてある。

(江守委員)

保留地の処分は、順調に進んでいるか。

(中田主幹)

保留地の9割近くは商業街区であり、また残りの保留地についても買手がほとんど決定しているため、大きな問題はないと思われる。

(稲垣委員)

先ほど、公園の整備は大部分が完了しているが、遊具等の設置が未整備である、と説明されたが、図面上では平成27年度ですべて整備されることになっており、非常に分かりにくい資料となっている。例えば、平成27年度と平成28年度の整備箇所を色分けするなど、みやすい資料を作成してほしい。

(中田主幹)

先ほども説明したが、公園は平成27年度だけで整備するものではなく、数年かけて徐々に整備していく箇所もあり、図面上では標記しにくい部分もあった。大変申し訳ありませんでした。

(井上委員)

主要地方道砺波小矢部線だが、こちらも平成27年度で、工事等がすべて完了したのか。それとも、平成28年度で実施する工事等はあるのか。

(中田主幹)

主要地方道砺波小矢部線については、片側交互通行にて整備を進めており、道路(本線)整備については完了しているが、一部、街路樹の植樹や消雪工事が残っている。現在、交通に支障をきたすような制限はない。

(江守委員)

現在、砺波市は適正に公園管理を行っているが、この区画整理事業でも公園が整備されているため、雑草等が生い茂らないよう適正な管理を行ってほしい。富山市では、公園の一部を地域に畑として貸し出し、野菜等をつくっているという話も聞くので、しっかりとした管理をお願いしたい。

(幡谷係長)

了解。

(山本委員)

砺波向山県民公園ですが、以前は県民公園でも地区運動会などを行っていたが、人口も減少してきたことから、現在は東般若小学校跡地の農村公園で行っている。そのため、砺波向山県民公園の管理は以前ほど行っていないのが現状であるが、砺波市から管理補助のようなものはないか。

(幡谷係長)

農村公園の通常の草むしり等管理については、委託料(東般若自治振興会に委託)が出ている。

(山本委員)

農村公園の管理とは別かもしれないが、東般若農村公園には忠魂碑があり、少し高台に建立されていることなどから、盛土部分が多少崩れていたり忠魂碑が雨風にさらされたりと、大変古くなっている。忠魂碑の修繕等は地元かもしれないが、公園の管理はしっかり行ってほしい。

(埴生会長)

先ほどからの意見を聞くと、皆さん中神土地区画整理事業について関心があるようだ。資料3も平成27年度までを赤で、平成28年度以降を青で色分けするなど、分かりやすく資料を作成すればいいかと思う。

(井上委員)

資料3をみると、公園が6箇所整備されているが、トイレはどの公園に整備されるか。

(中田主幹)

3号公園のみトイレを設置する予定である。

(井上委員)

トイレの管理は、しっかり行ってほしい。私も太田リバーサイドパークの管理を行っているが、トイレトペーパーが紛失したりとトラブルが後を絶たない。整備後は、どこかに管理を委託する予定か。

(幡谷係長)

中神土地区画整理事業のトイレについては、区画整理事業完了後、砺波市に管理が移管されるため、地元の自治会等をお願いしたいと考えている。井上委員のご意見にもあったが、トイレトペーパーの紛失は、市内の公園でも発生しており、留意したいと思う。

(井上委員)

以前、太田リバーサイドパークにおいて、トイレが詰まったため確認してみると、中からハンカチがでてきた。おそらく、トイレトペーパーがなかったためのやむ

を得ない対応かと思うが、トイレットペーパーについては注意してほしい。

(小幡委員)

話題提供だが、「住みよさランキング」について、2015年は8位だった。中神土地区画整理事業が徐々に完成していくが、「住みよさランキング」の5つの観点を私なりに審査すると、その観点の「利便度」のなかに「大型小売店舗面積」が指標になっており、今年ケーズデンキやコメリパワーが建設されたことから、一つ二つほどランクが上がるのではないかと予想される。また、来年のランキングでは、イオンモールとなみの面積が反映されるため、ランキングがさらに上昇すると思われる。なお、都市公園についても同様で、「快適度」のなかに「都市公園面積」が組み込まれるため、ランキング上昇の要因になるかと思う。

先日、1,000人を超え、記念式典も実施した杉木地区では、未だ住宅供給が進んでいるが、「快適度」の中には「新設住宅着工戸数」という指標もあり、「住宅水準充実度」には「住宅延べ床面積」もあるため、去年の8位より順位が上昇すると思われる。

(堀池課長)

小幡委員の発言のとおり、「住みよさランキング」の順位だけがメディアで報道されるため、なぜ砺波市が上位なのか、その指標については、あまり皆さん知らない。私の知る限りでは、「大型小売店舗面積」にはかなりウエイトがおかれているようだ。おそらく公の統計を指標として審査されていると思われるので、砺波市の順位が、今後上昇することが期待されている。

(小幡委員)

「住みよさランキング」の順位については、様々な場所で良く聞かれるが、砺波市民としては、なぜ上位なのか不明なため自慢できない。しかし、この指標などの意味を理解できれば、区画整理事業のポイントアップにもつながり、市民等の理解も得やすいのではないか。

(江守議員)

現在、中神地区において土地区画整理事業を進めているが、その地区は出町地区と林地区の二つの地区が混在しており、また小学校区も異なるため、一つの地区にできないだろうか。中神土地区画整理事業として整備したのであれば、将来的にでも一つの地区として取り扱えないだろうか。

(大浦部長)

関係部署に伝えておく。